

令和7年度第2回津島市総合教育会議 議事録

1 日時

令和8年2月16日（月） 午後1時57分から午後2時49分まで

2 場所

津島市役所 3階市長公室

3 出席者

構成員：日比市長、浅井教育長、小出委員、古川委員、奥村委員、畑中委員

事務局：総合政策部長、教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長兼東公園整備推進室長、企画政策課長、学校教育課長、指導主事、社会教育課長、企画政策担当職員1人

傍聴者：0人

4 議事

- (1) 令和8年度当初予算案における主な事業について
- (2) 教育に関する施策の大綱（案）について
- (3) 津島市教育振興計画（案）について

5 会議内容

○あいさつ

（日比市長）

- ・まちづくり再生として、第1弾「天王川公園 Park-PFI」、第2弾「宮きしめんオープン」に続き、第3弾として、市民の賑わい交流拠点として、天王通りにある旧いちい信用金庫と旧駐車場、そして本町筋にある観光交流センターが一体となった「つしまクロス」がいよいよ誕生する。楽しみにしていただければと思う。
- ・「つしまクロス」誕生に先立ち、今月22日（日）午前10時に「つしまクロス」の中にある「みなくるパーク」を先行オープンし、記念イベントを開催する。また、その後も、3月7日（土）、14日（土）、21日（土）に3回イベントを開催する。このイベントで馴染んでいただきながら、4月にグランドオープンという運びにしたいと思っている。
- ・本日は、「令和8年度当初予算案における主な事業について」に加え、前日も議題とさせていただいた「教育に関する施策の大綱（案）について」と

「津島市教育振興計画（案）について」の3件を議題としている。「教育に関する施策の大綱」、「津島市教育振興計画」については、いずれも、前回の会議以降、有識者や児童生徒より意見を頂いた。またアンケート調査を行い、それを踏まえた内容となっている。

- ・前回同様に、皆様から活発なご意見をいただき、策定して参りたい。

(浅井教育長)

- ・今、市長のお話にあった宮きしめん、私は昨日で5回行った。モーニングも2回それぞれ洋食と和食を食べ、昨日は念願の重箱きしめんを食べた。ぜひ、食べに来ていただきたい。
- ・立春も過ぎ、ほんの少しだが暖かくなってきた。2月8日（日）は津島の達人のジュニア選手権があり、児童科学館に70人をも超える小学生が集まり非常に盛況であった。
- ・オリンピックに出場したモーグル競技の津島市出身の柳本理乃選手が、怪我を克服しての挑戦という彼女の頑張りを中日新聞が取り上げてくれた。所属先である愛知ダイハツ株式会社とともに社会教育課も一生懸命応援活動をした。シビックプライドを果たすことができたと思う。
- ・今日の総合教育会議は前回の会議に引き続き「教育に関する施策の大綱」、「津島市教育振興計画」を、児童生徒と有識者の方の意見をしっかり聞いた上で策定する。ここで皆様の意見もまた加えて充実した会議にしたい。また、来年度予算についてもご意見を頂けたらと思う。

(1) 議題1 令和8年度当初予算案における主な事業について

(日比市長)

- ・令和8年度当初予算案における主な事業について事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・教育委員会にかかる予算については、人件費を含む総額20億6006万3千円で、対前年比93.6%となっている。事務事業費は14億6,984万3千円であり、このうち、学校教育課所管に係る予算は、10億5,912万4千円となっている。
- ・主な事業、新規事業等について説明する。学校教育指導費4,161万9千円のうち、学校教育指導事業として2,744万3千円を計上した。
- ・津島市では特色ある教育の取組として、プログラミング教育を国のデジタル田園都市国家構想推進事業を活用して、令和4年度から令和6年度までの3

か年事業として実施し、令和7年度についても全小中学校 12 校の参加によりプログラミング大会市長杯を開催した。5年目となる令和8年度についても、引き続き「楽しく役に立つプログラミング教育」の実践を目指して、夏に、第3回となるT P P大会市長杯を予定しており、それに伴う関連予算を計上した。

- ・地域学校協働本部事業補助金 162 万円は、市内全小中学校に展開しているコミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動が一体的に推進を進めるために、見守り活動や読み聞かせ、防災活動など、様々な活動に対し補助を行うものである。令和8年度についても、家庭・地域・学校が連携して、地域全体でこどもの成長を支える取組を進めていく。
- ・小中学校教育指導事業 55 万 9 千円は、児童生徒の不登校対策に関わる人件費を除いた教育支援センターの消耗品等の費用である。教育委員会では、昨年度、不登校生徒の居場所となるよう校内教育支援センター「ほっとルーム」を市内全4中学校に整備した。令和8年度も引き続き、市内に2か所ある教育支援センターと合わせた6か所で、不登校対策を着実に進めていく。
- ・国際理解教育事業の 1,042 万 7 千円は、領事館交流プロジェクト事業及び外国語指導助手派遣事業の関連経費である。領事館交流プロジェクトについては、令和5年度から、愛知県内の8つの領事館と市内8小学校での交流として拡大して事業を行っている。先月は神守小学校がトルコ総領事館とお互いの国や伝統文化の紹介等を体験を交えて実施した。また、2月18日(水)には東小学校でブラジル総領事館との交流を予定している。令和8年度も、子どもたちが、国際人として成長し、国際社会の中で貢献できるような人材育成の一助となるよう、領事館交流事業を引き続き実施していく。
- ・学校管理費については、小学校で2億 5,937 万 8 千円、中学校で1億 2,299 万 3 千円、合わせて3億 8,237 万 1 千円を計上した。学校管理費は、学校施設を維持管理していく経費で、学校施設の修繕料や保守点検の費用の他、ICT教育の推進に関する事業が計上されている。令和8年度は、令和2年度に導入した1人1台タブレットの更新を夏に予定している。令和7、8年度で、日本全国の市町村で、タブレットの入れ替えが行われており、津島市においても、全小中学校で i-Pad への更新を予定している。小中学校をあわせて4億円を超える事業であり、5年リースを予定しており小学校で2,514 万 4 千円、中学校で1,257 万 3 千円のタブレット借り上げ料を新規計上した。
- ・その他に、小学校器具購入費として、南小学校の普通教室用木製ロッカー774 万 4 千円を計上した。また、中学校器具購入費では、今年度、実施した藤浪中学校の校内電話の更新に引き続き、神守中学校の校内電話を入れ替える費

用として 378 万円を計上した。

- ・学校給食共同調理場費については 5 億 1,680 万 8 千円を計上した。今年度から、津島高校の中高一貫校が開校し、新設された津島中学校に、生徒、教職員に給食の提供を実施している。
- ・津島市では小学校・中学校の給食費について、子育て支援施策として、市立小学校・中学校の給食費の完全無料化事業を県内でもトップクラスの取組として昨年度に引き続き実施している。無償化については、小学校は来年度から国において実施する方針が示されており引き続き無償化が実施できるよう進めていく。

(社会教育課長)

- ・令和 8 年度の社会教育課所管の予算は、4 億 1,071 万 9 千円となっている。主な事業内容を説明する。社会教育総務費 6,996 万 8 千円のうち、社会教育・文化振興事業は、市民大学講座などの生涯学習事業、文化祭美術展・芸能交流会等の文化振興事業のほか、はたちの集いを始め青少年関連事業などに 299 万 8 千円を計上した。
- ・文化財保護事務は、堀田家住宅や氷室作太夫家住居の管理費のほか、文化財保護に関する事務費として 1,400 万 2 千円を計上した。津島秋祭の山車、石採祭車の保存団体から、担い手不足や物価高騰による修理費の負担増大など祭礼行事の継続、将来への継承に不安を抱える状況から更なる支援を求める声上がり、令和 8 年度から文化財修理費補助金の補助率を上げ、予算案を作成した。
- ・放課後子ども教室推進事業は、2,296 万 1 千円の予算を計上した。協働活動支援員の報償費は支援員の活動に対する謝金であり、賃金ではないものの、昨今の賃金上昇を考慮し、1 時間当たりの単価を 1,032 円から 1,140 円に増額している。
- ・文化財保存活用地域計画策定事業は当市の多様な文化財・歴史文化資源の総合的な保存・活用に関する方針を定め、保存・活用の措置を示す「文化財保存活用地域計画」を策定するもので、事業費は 151 万円を計上した。
- ・事務管理経費 2,849 万 7 千円は親愛集会所、永楽集会所の指定管理委託料 181 万 7 千円、津島市 P T A 連合会運営助成金 52 万 6 千円など社会教育関係団体への補助金のほか、必要な経費を予算計上した。新規事業として、親愛集会所外壁屋根改修工事費 2,437 万 6 千円を計上した。
- ・図書館費は 1 億 2,438 万 2 千円を計上した。主なものは、指定管理委託料 9,340 万 9 千円、図書館電算システム借上料 535 万 4 千円、図書購入費 1,077

万円。新規事業としては、リース方式を活用して図書館の空調機を令和8年度上半期に更新する事業を実施する。リース方式とは、市が空調機の更新工事を実施して工事費を支払うのではなく、リース会社にリース料を支払い、空調機を長期間借りるという契約を結ぶ方法である。令和8年度のリース料は下半期分で920万3千円を予算計上した。

- ・公民館費 367万2千円は、公民館教室・講座の開催に伴う講師謝礼 54万円のほか、施設の維持管理費用である。
- ・生涯学習センター費は、施設の維持管理及び運営費用に、5,740万5千円を計上した。新規事業としては、施設で使用していたコンデンサーなど低濃度のPCBを含む機器を廃棄するため、PCB廃棄物処理委託料 238万9千円を計上した。

(教育委員会事務局次長兼東公園整備推進室長)

- ・保健体育総務費は1,958万9千円を計上した。大会等委託料 480万円は、津島市民総合体育大会、スポーツフェスティバル、愛知駅伝、スポーツ教室事業や学校体育施設を利用してスポーツ活動を実施する学校体育施設開放事業等である。
- ・学校体育施設開放事業では、本年度に小中学校の体育館・武道館にスマートロック（電子錠）による管理や防災時における体育館利用が出来るように物理鍵から電子鍵に切り替えをした。来年度の本格実施に向けてスマートロック業務保守委託料 66万円やスマートロックシステム使用料 40万7千円、器具購入費のスマートロックBWA端末 45万1千円を計上した。
- ・令和8年度は愛知県にアジアのトップアスリートが集うアジア競技大会（9月19日～10月4日）、アジアパラ競技大会（10月18日～24日）が開催される。その中で津島市では、大会を盛り上げるため聖火リレーを9月6日午後5時から開始し採火イベントを予定している。
- ・事務管理経費の主なものは、スポーツ協会補助金 1,009万9千円などスポーツ団体への補助金などスポーツ振興に係る経費を予算計上した。
- ・体育施設費では、1億3,570万3千円を計上しており、体育施設費の主なものは、スポーツ推進計画に位置づけしている既存スポーツ施設を安全安心して利用するための施設管理費である。主なものは、東公園一帯や葉苺スポーツの家の管理のための指定管理料である教育・体育施設及び都市公園指定管理委託料 8,300万円や錬成館の高圧受変電設備更新のための工事費 4,708万6千円（2年間の予算 9,417万1千円）や高圧受変電設備更新時にPCB処分を行う委託料 89万円を計上した。

(日比市長)

- ・以上の説明を受け、ご意見をいただきたい。

(総合政策部長)

- ・対前年度比 88.9%となっていることについて補足する。令和 8 年度は市長選挙のため当初予算は骨格予算となり、タブレット端末の更新や指定管理料等の継続的なものは当初予算で計上しているが、政策的なもの、投資的経費、新規事業等は、市長選挙後の 6 月の補正予算で計上する予定であるということをご理解いただきたい。

(日比市長)

- ・骨格予算であることを踏まえ、改めてご意見をいただきたい。

(奥村委員)

- ・例年、金額見てこんなにお金がかかっているのだなという実感をする。とくに来年度はタブレット端末の更新ということで、莫大なお金がかかっている。ぜひ、こどもたちに、引き続き ICT 事業を充実させていただければと願うばかりである。

(畑中委員)

- ・タブレット端末の更新も含め、プログラミング大会や、領事館交流プロジェクトも津島市が誇るものだと思う。継続してきて、最近はもう定着したと感じている。こういうところに予算を割いていただくことは大切なことだと思う。

(古川委員)

- ・今年はアジア競技大会、アジアパラ競技大会がこの地で開催されるということで、それに関する予算も上がっているが、より実感できるような理解が必要だなと思う。

(小出委員)

- ・予算が減額されており心配したが、骨格予算ということで安心した。教育というのは急にお金が必要になることがある。そういったときに教育委員会である程度余裕があると、その時節に合った対応ができる。今年度作成さ

れた柳本選手の応援の懸垂幕についても用意ができた。急に対応しなければならぬものがあるので、現場の声を聴きながらしっかりと準備できるようにしていただきたいと思う。

- ・学校ではまだ問題になっていることがいくつかあるとお話を聞いたりするので、それらを少しでも減らしていくことで、子どもたちが自分たちの学校や市が良いという形になっていくと思う。

(浅井教育長)

- ・骨格予算の中でもたくさんの予算つけていただきありがたい。タブレット端末の更新による予算が非常に大きい。その中でプログラミング大会や領事館交流、それから給食費のことも考えていただいて助かるなど思う。
- ・社会教育課の方では文化財の保護、保存活用が非常に大きな課題になっている。文化財は本当にお金が多く必要になってくるので、悩ましいところであるが一生懸命進めている。それから図書館のエアコンの不具合についても大きな問題になっている。それらも予算の中に入っている。
- ・東公園の一体整備計画がいよいよ本格的に動き出している。東公園一帯整備基本構想策定協議会も開催している。そういった面で今年は東公園にも注目していただきたいと思う。これらの予算が動き出すことは本当にありがたいと思う。

(日比市長)

- ・いただいたご意見を参考に事業を進めて参りたい。

【古川委員は他予定により退席する。】

(2) 議題2 教育に関する施策の大綱(案)について

(3) 議題3 津島市教育振興計画(案)について

【議題2と議題3については関連していることから一括議案とする。】

(日比市長)

- ・教育に関する施策の大綱と津島市教育振興計画については、前回の総合教育会議以降、有識者及び児童生徒より意見聴取しそれらを踏まえた見直し案について、事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・(2) 議題2の教育に関する施策の大綱についてと、(3) 議題3の津島市教育振興計画について併せて説明する。先に、津島市教育振興計画について説

明する。

- ・津島市教育振興計画は、令和7年8月に開催の第1回の総合教育会議で事務局案を説明した。会議終了後、8月から11月に、有識者の意見聴取を実施するとともに、こどもたちへのアンケートも合わせて実施した。
- ・有識者については、大学教授や校長先生やコミュニティ・スクールの会長、PTAの代表の方の意見を聴取させていただき、津島市教育振興計画全体を通して、計画の全体像や基本方針、教育ビジョンについて、表現の細かな修正や内容面で気づいた点をご指摘いただいた。
- ・主な修正事項は、1ページの、「Ⅱ 基本方針」最下段に、教職員の在り方として、人間的な魅力ある教師・職員になるため力量を高めていることを加えてはどうかとの意見をいただいたので、「誇りや使命感に満ちた魅力と教育力のある教職員」と訂正している。
- ・2ページの、家庭における取組の部分で、津島市の他に先駆けたコミュニティ・スクール（学校運営協議会）のすばらしい取組が実践されていることを踏まえ、「地域の絆づくり」を活かした、「こどもたちの心に響く取組」を推進することや、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を中心としたこどもたちの支援と人づくりの推進」について加筆している。
- ・4ページの、Ⅲ 目標達成への施策の（1）目標達成への施策 ①確かな学力の育成（ア）「指導方法の工夫改善」で、「ICT機器を活用した指導方法の工夫」について加えるとともに、（イ）津島教師養成塾（つし丸塾）の後段に、「こどもに寄り添った個に応じた支援のあり方も学ばせていきたい」という内容を加えた。
- ・5ページの、（オ）「二学期制の充実」の最初の部分に、二学期制の効果を強調して、「二学期制を生かしたゆとりある年間カリキュラムの中で」とした。
- ・②豊かな心の育成（エ）「より豊かな生き方を目指す活動」（キャリア教育）では、小学校でのキャリア教育に関わる内容として、後段の最後の部分に「小学校では、将来の自分の姿を思い描きその実現のための学びの大切さを感じさせる授業展開や活動を工夫する。」と小学校の取組を加えた。
- ・8ページの、（2）目標達成のための重点事項（ウ）「安全安心な学校」については、いざというときに児童生徒自らが身を守ることができる姿勢や能力の育成、危機管理意識の向上、というポイントがわかりやすくなるよう「児童生徒が安全に安心して学校生活を送るための環境整備や不審者・火災・自然災害等の緊急時に適切に対応するための環境整備に努めるとともに、教職員の危機管理意識向上と児童生徒が自らを守る意識の向上や能力の育成に努める。」と修正した。

- ・こどもたちの意見として、小中学校 12 校の児童会・生徒会のこどもたち中心に意見を集めた。たくさんのこどもたちの意見をいただいたので抜粋して紹介する。
- ・こどもたちには、今の学校生活が、よりよくなるような提案として、東小学校の 6 年生からは、「学校でのケガをへらすために、かべやてんじょうなどがはがれおちてこないように、ほしゅうをていきてきにする。」、南小学校の 6 年生からは、「周りの意見に耳を傾けることも大切だけど周りに流されず自分の意志にも大切にする。自分の経験や知識を当たり前と思わず相手の気持ちを考えてから会話する。」と意見をいただいた。
- ・SNS やゲームの接し方についての提案として、南小学校の 6 年生からは、「SNS やゲームなどのそこだけのまったく知らない人と関わるのはちょっとひかえた方がよいと思います。なぜなら今は SNS やゲームもしんかしています、ゲームないで知ってしまうだけで、いろんなことが知れちゃうとあぶないからです。」、北小学校 6 年生からは、「SNS やゲームへの依存は、家庭環境が大きく影響していると思います。そのため、市や教育委員会からの働きかけが、子どもだけでなく、保護者に向けたものであっても良いのではないのでしょうか。」と意見をいただいた。
- ・人生 100 年といわれ、誰もが生涯にわたって学習やスポーツを続けることが大切と言われている、あなたは、今後生涯にわたって学習やスポーツにどのように接していくつもりですか、これからの社会をよりよくするにはあなたは、どうしたらよいと思いますか、という項目では、神守中学校 3 年生からは、「学習やスポーツを辞めることなく、楽しみながら接していきたいと思っている。これからの社会をよりよくするためには、今の若い人達（私達）が社会に対して興味、関心をもち、何か行動にうつすとよいと思う。」、神守中学校 2 年生からは、「これからの社会をよりよくするには、教育が大切です、多様な価値観をし、尊重する力や、環境や技術の変化に対応する知識、スキルを身につける必要があります。主体的に学び、問題を解決する力を育てることがこれからの明るくすると思います。」等、様々な意見を、皆一生懸命考えて書いてくれた。
- ・今回の取組は、小学校・中学校、それぞれ年齢に応じたこどもの意見表明の機会となったほか、こどもたちの意見が、今回の策定している大綱や計画に取り込まれて反映されたものとなっていると考えている。
- ・次に、教育に関する施策の大綱について説明する。教育に関する施策の大綱については、前回の第 1 回総合教育会議において、現行の教育に関する施策の大綱が、第 5 次総合計画を踏まえ策定したものであり、体制に変わらない

ため、大枠の変更は無く、社会情勢や事業実施の現状にあわせた形で作成した旨を説明した。先ほど、津島市教育振興計画で説明したように、有識者の方や、児童生徒の意見を勘案して表題の変更を行った。

- ・ 2 ページの、本市教育の基本理念について、育てたい人間像を、「豊かな人間性とよりよく生きる力を身につけた、郷土を愛し、人権感覚・国際感覚のある人“津島っ子”」と改めた。これは、「津島への愛着、郷土愛を育てていくというシビックプライドを大事にしたいという思い」や、「津島市全体で取り組んでいる人権や多様性の尊重」、「領事館との交流をはじめとする国際感覚を豊かにしていく必要性」を斟酌して、今回新たに改訂した。
- ・ 他の部分については、3 ページの、「大綱策定の趣旨」は、国の第4期教育振興基本計画や、第5次津島市総合計画に規定する基本的な方針に従って、市の教育が目指す基本的な方向性を示すものであり、「大綱の期間」は、令和8年度から令和12年度までの5年間となっている。
- ・ 4 ページの、目指す教育の方向性として、3つの方針を定めている。方針の1「次代を担うこどもの育成」は学校教育課所管であり、方針の2「生涯にわたる学習・スポーツ活動の支援」、方針の3「歴史・文化の保護・継承・活用」は社会教育課所管となっている。
- ・ 方針Ⅰ「次代を担うこどもの育成」では、次代を担う子どもたちがよりよく生き抜くための「生きる力」を養うため、4つの目標を示した。目標1では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体の育成を掲げ、「生きる力」を育てていく。目標2では、児童生徒が安全で安心して学べる環境、目標3では、津島市独自の取組である、県内の領事館との交流事業や、タブレット端末などを活用したプログラミング教育、郷土愛を育てる取組をとおした、未来へ飛躍する人材育成を目標とした。目標4の地域連携では、コミュニティ・スクールを核とした、「地域社会総がかり」で地域に根差した教育・学校づくりを推進することを記載している。
- ・ 方針Ⅱでは「生涯にわたる学習・スポーツ活動の支援」を掲げている。目標5では、市民の自主的な生涯学習活動の取組の支援について、目標6では、スポーツ振興における生涯スポーツの推進について定めている。市民のみならず誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、学習・スポーツ活動を楽しむことができ、生涯にわたる学びの機会や施設を充実させる方針を示している。
- ・ 方針Ⅲ「歴史・文化の保護・継承・活用」では、郷土の歴史・文化資源の保護・継承・活用を通じて郷土愛を育むことを目標に掲げている。
- ・ 7 ページの、学校・家庭・地域の3つ役割について、学校・家庭・地域がそ

れぞれ役割をもち、相互に連携・協働して目標を達成していくこと、そして、持続可能で、誰一人取り残さない取組を目指すこと記載している。

- ・「豊かな人間性と、よりよく生きる力を身につけた、郷土を愛し、人権感覚・国際感覚のある人“津島っ子”」を、育てていくことを、今回策定する津島市教育大綱の目指すべき在り方として示している。

(日比市長)

- ・以上の説明を受け、教育に関する施策の大綱及び津島市教育振興計画について意見をいただきたい。

(奥村委員)

- ・最近A I 技術が進んでおり、文章作成においてもキーワード一つ入れるだけで論文ができてしまう。A I も正しい知識がほとんどであると思うが、日常でも多く関わるようになってきたので、正しく取り込まないといけないと感じている。基本の教育スタイルがあり、間違った方向にいかないようにしなければならない。
- ・若い人のSNSにおける犯罪等があり、SNSで社会が混乱させられているところを見ると、ここで間違って教えてはいけないと考えさせられるところがある。正しく教育していただけたらと思っている。

(畑中委員)

- ・こどもたちのアンケートの回答に感心している。一つ一つの課題に真剣に向き合っており、真剣に考えている。とても良い取組だと思う。一つ一つの意見を大切にしてください、教育に取り入れてほしい。

(小出委員)

- ・教育に関する施策の大綱で、育てたい人間像を「豊かな人間性とよりよく生きる力を身につけた、郷土を愛し、人権感覚・国際感覚のある人“津島っ子”」に設定され、非常に素晴らしいことだと思う。これを柱にすれば、間違えることはまずないだろうと思う。これに沿って、具体的にどうすればいいだろう、こういうことができる、とすることが大事。その元になったのが畑中委員がおっしゃったように児童の声を聞いてみる。また、さらには年配の方の声を聞いてみる、皆の声を聞いてでき上がったものというのを訴えることが今の津島市には必要だと思う。
- ・その1つが文化財だと思う。文化財のことを中心にやっていたらよかったの

は結構年配の方が多いと思われる。だから年配の人の声も拾い上げていくともっと地域が盛り上がってくるような気がする。この柱があるから大丈夫だと思う。

(浅井教育長)

- ・教育に関する施策の大綱や津島市教育振興計画を策定するにあたって、有識者や子どもたちの声を聞いたというのは1つ前進したのではないかと思う。これらを全て反映させることはなかなか難しいと感じているが、本当に子どもたちの意見を見ると、意外とSNSについても常識的な考えをした意見をくれたと改めて感じた。
- ・教育に関する施策の大綱の中で、CS（学校運営協議会）という言葉についてあるが、命の授業（がん教育）を医師会や市民病院の皆さんのお力を借りながら実施しているのも大きな特徴の一つである。
- ・誰1人取り残さないということで、校内教育支援センター「ほっとルーム」を開設した。この取組を2、3年間見てきたが、ちょうど昨日ほっとルームに行っていた子から高等専門学校に合格したという報告があり、非常に嬉しいことであった。このほっとルームは生きて働いていることを改めて感じた。この取組を中学校から小学校へ進めていくのか、小学校にも必要なのか、しっかり議論をしていきたい。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの活用も含めて考えていきたいと思っている。
- ・小出委員がおっしゃったように文化財を守ることが津島市にとって本当に大きな課題になると思っている。歴史のまちであるので、既に文化財を守る段階に入っている。文化財そのものが傷んでおり辛い状態になっている。しかし、これはテレビ等を見ていると津島市だけの問題ではなく日本全国の文化財が今危機にあると感じている。お金の問題も含めて考えていかななくてはならない時期にきていると改めて思った。

(日比市長)

- ・いただいたご意見を参考に教育に関する施策の大綱及び津島市教育振興計画を策定し事業を進めて参りたい。

(4) その他

(企画政策課長)

- ・次回の総合教育会議について、日程が決まり次第、教育委員会を通じて連絡する。